

# 大橋屋

旧旅籠鯉屋



## 夏の月 御油より出でて 赤坂や 芭蕉

東海道赤坂宿は江戸から数えて36番目の宿場で、35番目の御油宿とはわずか16町(約1.7km)と東海道の中で最も短い宿場間でした。

◀ 関川神社の芭蕉句碑

### 赤坂宿の概要 天保14年(1843)

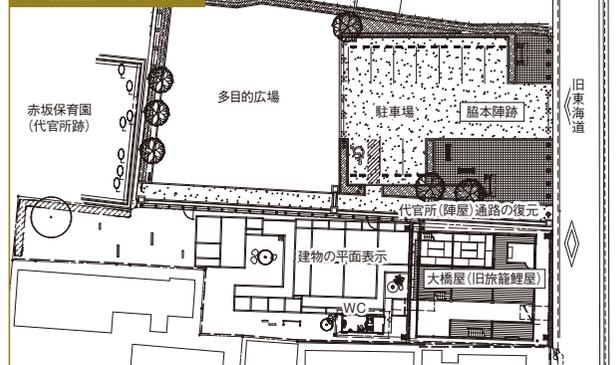
【宿内】町並東西8町30間

【人口】1,304人/内:男578人 女726人

【家数】349軒/内:本陣3軒、脇本陣1軒

旅籠屋62軒 大19軒・中19軒・小24軒

### 大橋屋の平面図



大橋屋建物の保存修理工事とともに隣接する脇本陣跡を多目的広場や大橋屋の景観を楽しむことのできる公園として整備しました。

また、脇本陣と大橋屋の間にはかつて東海道から代官所(現赤坂保育園)への通路があり、整備工事に合わせて復元しています。



- ▶ 名鉄名古屋本線「名電赤坂駅」から徒歩8分
- ▶ 東名高速「音羽蒲郡IC」から車で5分

開館時間 午前10時～午後4時 入館料 無料

休館日 月曜日(祝日の場合は、開館)  
年末年始(12月29日～1月3日)

## 豊川市大橋屋(旧旅籠鯉屋)

〒441-0202 愛知県豊川市赤坂町紅里127-1

TEL/FAX 0533-56-2677



1 主屋裏にかつてあった建物の平面表示



2 歌川広重の浮世絵を模した灯籠とソテツ



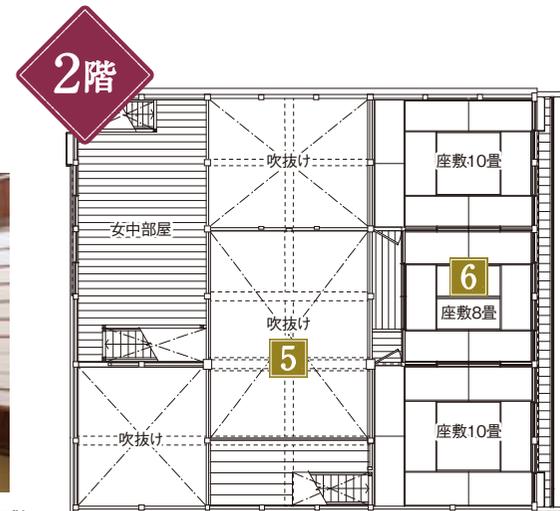
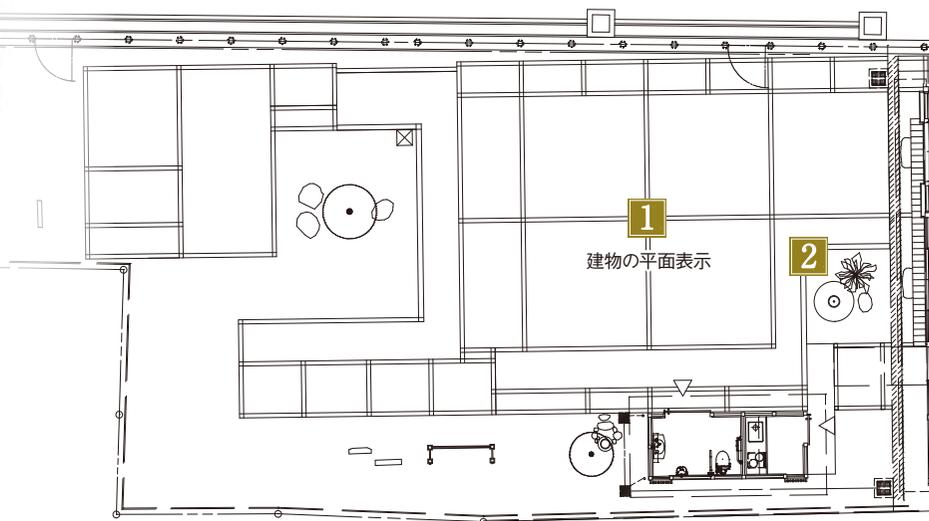
3 【一階】曲線を描く框(かまち)と式台のある玄関



4 唐草文が彫刻された虹梁(こうりょう)

大橋屋建物は、文化六年(一八〇九)の赤坂宿大火以降に建てられたと考えられています。江戸時代の屋号は「鯉屋」で、一般の旅人が宿泊する旅籠屋でした。明治十一年(一八七八)の明治天皇の北陸巡幸では行在所として利用されたこともあり、その後、所有者は近藤家から高田家、青木家と変わり、屋号も「大橋屋」と改められました。平成二十七年(二〇二五)に青木家より建物の寄附を受けたことを契機に、平成二十九・三十年度で江戸時代の旅籠建物の姿を再現することを基本とした改修復原工事を行いました。

### 大橋屋(旧旅籠鯉屋)



### 豊川市指定文化財 大橋屋(旧旅籠鯉屋)

【指定年月日】昭和52年3月1日 【構造形式】木造2階建 切妻造 棧瓦葺  
【延床面積】1階145.54㎡ 2階86.53㎡

改修前



5 解体調査に合わせてナカミセの梁上にあつた6つの表の中身を確認したところ、江戸時代後期から昭和時代までの約1600点の御札が納められていました。



6 【二階】格子越しに街道を見下ろせる座敷